

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや  
ちくさ  
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 〒44 千種区池下一丁目4番18号  
井上ビル4F D号  
Tel 763-5110  
会長 水野民也

No.20 (1982~1983)

MANKIND IS ONE-  
Build Bridges of Friendship  
Throughout the World

人類はひとつ  
世界中に友情の橋をかけよう  
1982~83年度 R I 会長 向笠広次

## 第20回例会 昭和58年1月4日(火)晴

### ◇“奉仕の理想”

#### ◇乾杯

山田巖ガバナーエイド

#### ◇出席報告

会員 40名 出席 31名

出席率 77.50%

#### ◇前回 12月27日(修正出席率)100%

##### make up

堀場君(12/29名北), 黒野君(12/31港), 日下君(12/21名古屋), 西川君(12/29名北), 大口君(12/29名北), 鈴木君(12/24北)

#### ◇ビジター紹介 3名

#### ◇誕生日祝福

石田夫人(1/4), 橋本夫人(1/9)

#### ◇ニコボックス

松居君, 谷口君(新年を迎え会員の皆様の御健勝を祝しまして), 水野(民)君(新聞に掲載されたので, 又新年を祝しまして), 竹内君(新年明けましておめでとうございます), 鈴木君(年末助け合い募金 御協力ありがとうございました), 新美君(新年明けましておめでとうございます), 石田君(夫人誕生祝), 橋本君(夫人誕生祝), 菊池君(結婚記念祝)

#### ◇松居幹事報告

1. 次回例会終了後, クラブアセンブリーを行いますので理事・役員, 正副委員長の方々は, 2F橋の間にお集まり下さい。
2. ロータリーの友1月号が届いておりますので, お帰りの際にお持ち帰り下さい。

#### ◇水野(民)会長挨拶

明けまして, おめでとうございます。  
今日は, 山田前分区分代理, 山田Gエイド, またはるばる岡山市からお客様をお迎えし

て58年初の例会を開催することができました。昨年はチャーターと創立と, 誠に大変な1年でございました。皆様方にも物心両面でお世話になりましたこと, 心から御礼申し上げる次第です。

いよいよ今月の18日には第1回の Official・Visit(公式訪問)があり, 大隈ガバナーからいろいろとご質問やら, 今後の方針等についてお話があることと存じます。さて, この1983年は, ロータリアンとして如何に世に処すべきか, ロータリークラブは如何に社会に奉仕すべきかを, 考えてゆかねばなりません。が, いずれにしても, 4大奉仕のうち職業奉仕が確立されていてこそ, クラブ内の和や, クラブの発展ができ, クラブ奉仕となり, 更にそれが大きくなって社会奉仕となり, 世界に向っての国際奉仕ともなるわけです。チリからクラブ創立の祝状が届いておりますが, そこで, さて, チリは何語を使っていたのか, 或いはどんな国であったのかとか, 少し勉強するだけで, 国際社会への眼が開かれると思います。

財団のこと, 米山のこと, ひとつずつ重ねながら, よいRCとしてゆこうではありませんか。

#### ◎ビジターフィー変更

岡崎南RCは1983年1月7日(金)の例会よりビジターフィーを1,800円に変更致します。

1983年1月1日より  
ドル・円換算レート 252円  
になります。

昭和57年10月度分區別会員数及び出席率

分 区	クラブ名	会員 数	出席 率	例 会 数	前 会 員 数	増 減
尾 張 第 一 分 区	半田	62	97.00	4	62	0
	半田	44	98.87	4	44	0
	東名	47	98.85	4	47	0
	名古	221	95.70	4	219	2
	古屋	96	99.57	5	96	0
	古屋	99	100.00	4	99	0
	古屋	50	100.00	3	49	1
	古屋	54	100.00	4	54	0
	古屋	118	99.36	3	118	0
	古屋	104	100.00	4	104	0
	古屋	57	99.10	4	57	0
	古屋	79	98.67	4	78	1
	古屋	98	98.74	5	98	0
	古屋	144	98.88	4	145	1
	古屋	83	100.00	4	82	1
	古屋	72	100.00	3	73	1
	常名	52	98.08	3	52	0
古屋	59	97.83	4	59	0	
名古	40	99.34	4	39	1	
19C		1,579		1,575	+ 4	

世界理解週間

世界中のロータリアンとロータリー・クラブは間もなく世界理解週間（1983年2月20～26日）を祝うことになる。また、2月23日には、RI創立78周年に敬意を表する。ロータリーの国際奉仕目標を実施する力になるために私達が講じることのできる沢山の方法の一例を次に挙げる：

- ロータリー財団を支援する。
- 世界社会奉仕に携わる。
- 青少年交換学生を推薦する。
- 国家間の訪問に参加する。
- 研究グループ交換チームを受け入れる。

国際奉仕（RBLの第5巻）は次のように語っている。「クラブがどのようなプロジェクトもしくは活動に着手することを選ぼうとも、世界理解週間の基礎となる心構えは年間通して分かち合うべき心構えである…というのはロータリアンにとって異邦人はなく、単に他の国民、他国の友人がいるだけである。そして、この友情から世界中にロータリーの奉仕を及ぼし、広める機会が生まれる」

地域社会の青少年への援助

私達のクラブは地域社会のあらゆる青少年のニーズを調査したか？奉仕分野は、ハンディキャンプ、奨学金、健康管理、助言、運動競技、雇用と様々に分かれている。青少年に奉仕し、青少年と足並みをそろえることにより、私達は柔軟性を保ち、前途に希望を抱くことができる。…ロータリアンと青少年が出会い、協力する度に、この二つの重要な特

性がよみがえる。

ロータリー財団に対する一つの見方

「『ポール・ハリスを偲ぶ記念碑』；ロータリー財団はこのように定義され続けてきた。ロータリーの創始者が仮に記念碑を選ばなければならぬとしたら、その記念碑は、かくあれかしと願うに違いない；大理石やブロンズの記念碑でなく、世界の諸国民間の人間的交流、理解、友情という『永遠に朽ちることなき』材料から造られる記念碑をと」、

…ROTARY（イタリア）、1982年6月号

広報

社会奉仕は、好ましい一般向け情報と地域社会関係が相俟って最も効果的となる。

ロータリアンの言葉

「あらゆる大陸のロータリー・クラブを訪問して、ロータリー・クラブが理解と相互信頼で結ばれていることを知った。これが国際平和の根本であり、多様性を失わない結合である」

…ラビ・ハーマン・エリオット・シュナイダー（米国）

「幸福とは満足でなく克服である。今、最善を尽くす人のみを得られるものである。奉仕のために最善を尽くし、時間を捧げる人のみを得られるものである」

…元地区ガバナー、Chae Kyung Oh（韓国）

「私達は、世界中のあらゆる人々に友情の手をさし伸べなければならない。そうすれば、扉を開くと同時に世界が始まる」

…ロータリアン、R. ミルトン（英国）

「ロータリーで最も重要な言葉は「奉仕」である。しかし、同じ位重要なのは、『ほほえみを忘れない暖かい奉仕』である」

…ロータリアン、K. K. パーティア（インド）

私達は、地元地域社会の様々なグループに、ロータリーについて効果的に話のできる講演者を紹介、斡旋するよう奨励されている。

◇次回例会（1月11日）

卓話 “仕事から得た医学知識”

会員 秋山茂則 君

◇次々回例会（1月18日）ガバナー公式訪問

卓話 “大隈孝一ガバナー講話”